

INTERIOR+



#1: 多肉植物

夏だから、可愛クールに。

多肉植物って、器でいろいろと表情が変わるので、幅広いコーディネートができるんです。それが魅力ですね。手がかからないのに、がんばって育ててくれるところも、かわいい。ただ、寒さと水に弱いので、気温と水のやりすぎには気をつけてください。

ビアスのオープンハウスには、おすすめインテリアを置いています。以前は造花でしたが、いまは多肉植物を飾っています。本物はいいですね。個性があるのは、建物と同じかな。オープンハウスごとに買い足し、増やし続けた多肉たちは、うちで育てています。もう置く場所がない…。愛しの多肉に囲まれて幸せですが、自宅は寒いので、次の冬、この子たちとどうやって過ごそうか…目下の悩みです。

ビアスの家をビアスらしくしているのは、インテリア。今回はコーディネーター鈴木が惚れ込んでいたアイテムをご紹介します。お気に入り一つプラスして、暮らしをより美しくしませんか。



コーディネーター鈴木恵季のひとことアドバイス:100円ショップにも売っていますから、お気軽に多肉ライフにトライしてみてください。

ホビーのススメ

hobby 1: ルアーフィッシング



今回の推薦人
原川 光洋

釣具屋さんに行くとき、新しいルアーをチェックしてしまいます

だから、おすすめします！
とにかく無心、ときおり興奮。



自慢アイテム:ルアー

5~6年前、友人に誘われて、ルアーフィッシングを始めました。静かなところが好きなので、すっからはまっています。基本は溪流釣り。夏場は、2~3時間歩いて上流まで行って釣ります。この時期は、ブラウントラウト(マスの仲間)やイワナが釣れます。アブに悩まされるのは、ちょっと…。虫除けなんて効きませんから。気をつけているのは、クマ。普通に痕跡を見かけるので、それを見つけたら、引き返しましょう。人が入っていない未開拓の場所をいろいろ探してみてください。釣りがいっそう楽しくなると思いますよ。

みさお、夏の一读

「女を磨くココ・シャネルの言葉」

高野 てるみ (マガジンハウス)

ある年の誕生日、ある人が贈ってくれた本。シャネル…あまり縁がないなあ。放置すること数カ月、贈り主の「読んで？」にあわてて読む。わ、シャネルかっこいい！

「体の動きは背中が一番よく現れる」。…ドキッ！お客様やスタッフに、働き方やほかの人の接し方を見られていると思ったら、耳が痛い。「出かける前に何か一つ外したらあなたの美しさは完璧になる」。…よくわかる！家のデザインやインテリア、机上では、ついででも足となる。でも何かを外すと、現場で、やっぱり正解！と思うことが多い。

読むたびに、叱咤激励されて気持ちがピンとなる。今や、繰り返し聞く大切な一冊になった。(専務/森山 操)



beus news

1.公式サイト、リニューアルしました。

2010年から続く弊社ウェブサイトが、5月に全面リニューアル。いままで以上に、イベント情報や施工事例が見やすくなりました。さらに、弊社の大切なパートナーである職人さんのプロフィールを追加！なつかしい顔に再会できるかもしれません。また、オーナー様にご協力いただき、「お客様の暮らしぶり」をご紹介します。ほかのオーナー様は、どこにこだわったのか、なにを工夫しているのか。みなさんの暮らしのヒントになるかもしれませんね。公式サイトはコチラ → <http://www.beus.jp>

2.シャビーシック、体験できます。

エスプリがきいたパリのアパルトマンを思わせるデザインで人気のインターデコハウス「フレンチ」桔梗フレンチ・モデルハウス(函館市西桔梗町)が、生まれ変わりました。アンティーク調の家具とエレガントなファブリックをミックスさせた、おしゃれパーソンに人気のスタイル「シャビーシック」。フェミニンとインダストリアルを組み合わせた、大人可愛い空間に遊びにきてください。見学の受付 / 公式サイト or Tel 0120-56-0188



NEW!

ブランディングチーム

ビアスが、札幌で活動する映像・写真・ウェブ・デザインのプロとタッグを組んで、ブランディングチームを立ちあげました。公式サイトもkotonohaも、ここから生まれています。



kotonoha

創刊号

2015 summer

季刊 ことのは www.beus.jp

we design your home and life style. impression for life, to you.



あらためまして、ビアスです。 私たちらしく、みなさんとともに。

1991年創業の株式会社ビアス。社長の青島康夫が前身の会社を一人で引き継いでから、いまや総勢14名の家づくり集団に成長しました。漂とした家を見て、それが、ビアスの家づくりの想い。創業以来、一貫して変わりません。その原点にあるのが、青島の「娘に恥ずかしくない仕事をしたい」という気持ちです。そう、家というのは、必ず人の目にふれ、

後々まで残るものですから。もう一つ、私たちが大切にしているものがあります。家という器ではなく、暮らしの空間をつくるという意識。それは、ビアスの心ともいうべきものです。住む人が満足し、見る人が憧れる、そんな家をずっとつくり続けています。



ビアスの「いま」を伝えたい。 お客様の信頼を得るために。

オーナーのみなさんにビアスの「いま」を知っていただきたくて、社報誌kotonohaを創刊しました。ご自宅を建てた当時のビアスは、よくご存じでしょう。だからこそ、家づくりを任せてくださったはず。でも、それ以降のビアスは知らない可能性がある。家の引き渡しと同時に、ビアスとの関係は終わりという考え方もあると思います。しかし、それではあまりにも寂しい。わが家にはビアスがいるから安心だと思って暮らしていただきたい。そのためには、いまのビアスを知っていただく必要があると考えています。

株式会社ビアス
代表取締役 社長
青島 康夫

1961年生まれ、54歳。東京都出身。高校卒業後、兵隊関係の会社に入社。営業の基礎を学ぶ。その後、転職先での縁により、ビアスの前身の会社に就職。1991年より現職。2015年5月現在、建てた住宅・店舗は900物件を超える。1,000物件をめざして邁進中。

社名には、みなさんの快適な暮らしのために、私たちがいるという意味があります。「協力して (between us)」 「私たちらしくありたい (let it be us)」 という思いも込めました。ビアスがビアスらしくあることで、お客様が信頼して家づくりを任せてくださると考えています。家という大きなものを扱っているからこそ、信頼は責務といえるでしょう。

ただいま動画、制作中!



「ビアスの心」を伝えるために。

5月19~21日の3日間、コンセプトムービー「それぞれの帰る場所」の撮影を行った。俳優・撮影スタッフ総勢20名が札幌から函館入りし、ビアス社内での収録のほか、市内各地でロケを敢行。本格的なものである。また、主人公たちの自宅は、実際のオーナーさん宅をお借りするという凝りようだ。撮影に同行した広報の菅原は、「撮影は早朝から深夜に及び、大変だったけど、いいものが撮れたよ」と、自信をのぞかせる。近日公開!と言いたいところだが、実は社内用。会社の理念を社員に伝えるためのものなのだ。しかし、公式サイトでダイジェスト版を公開予定。お楽しみに!



株式会社 ビアス www.beus.jp

TEL 0120-56-0188

〒042-0942 函館市柏木町1-12

TEL 0138-56-0555 FAX 0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY

b.i.v HOMES b-maison

kotonoha 2015 summer issue © 2015 beus Co., Ltd.